

佐土原 R C
週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others
この幸福は人助けから

1993. 5. 28 (金) 第271回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「社でローター」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 次年度方針について 会長エレクト
10. 点 鐘

第270回例会記録
(1993. 5. 21)

会長の時間 代理 副会長 児玉武文

皆さん今日は、本日は第270回例会です。
岩切会長が少し遅れられますので、私が代理をいたします。

今日は気象情報によりますと“梅雨入り”とのことです。5月の連休以来よい天気が続きましたが、今年はいかなる梅雨になるのでしょうか？

さて、毎日曜日の日経新聞に、堺屋太一さんが、「日本型神話の終焉」ということで連載記事を書かれていますが、興味深い記事でありますので一部をご紹介します。

前回の円高の場合は、240円から120円まで上がりましたが、この時は日本の企業は、輸出価格のアップで30円、輸入価格の切り下

げによるメリット及び金利低下で40円、そして企業内切り詰めの努力によって40円の対応を行い、円高を切り抜けました。

その後景気は拡大し、バブル経済へと移行して行きました。

今回の円高と前回の円高との違いは、前回は前述のような環境の中でも、なお国内価格は据え置いたままであって、高い物は良い物だという国内の需要がありました。

それはなぜかと言いますと、価格=生産原価+適正利潤の価格管理が確立しており、かつ、これを支える需要があったからです。

今回は消費者も賢くなり、高い物は良い物だという考えを改めて、価値観にマッチした物を求めるようになってきました。すなわち、価格は消費者が決める時代なのです。

価格-適正利潤=企業使用可能コストとなり、こうした対応のできるような物づくりの可能な企業でないと生き残れなくなってきております。

価格は、価値観に合った、消費者のニーズに対応し得るものでなければならない、という発想の転換を図ることが肝要なのです。

そのためには流通コスト等の吸収が大切でありましょう。

幹事報告 藤堂孝一

1. 財団法人みやざき長寿社会推進機構から、第4回「老年の主張コンクール」作品の募集について依頼が来ています。

2. RI第2730地区ガバナーより、因連
麻薬乱用撲滅「ダメ・ゼッタイ」普及運
動趣意書が配布されました。
3. 例会変更通知
*小林中央RC 5月21日 12:30
忠霊塔(名所例会)
5月28日を27日に突
更、18:00から
えびの市京町真砂旅館
- *延岡RC 6月9日は休会(祝日)
4. 次年度宮崎市郡6RC会長・幹事会の案
内が、宮崎RCから来ています。
日時 5月31日 19:00
場所 宮崎観光ホテル 1F「橋」

出席報告 委員長 神宮寺 利 夫

会 員 数	16名
欠 席 者 数	3名
HC出席者数	13名
出 席 率	81.25%
欠 席 者 名	井下・斉藤・郡司

ビジター

高鍋RC 高山 昭 康 君
西都RC 浜 砂 源 弘 君
" 阿 万 英 也 君
" 長 友 正 三 君
" 吉 鷹 司 郎 君

ロータリーの信念

「世界が求めてやまない恒久平和は、人々の間の友情、寛容、親善のうえに築かれるというのが国際ロータリーの信念です。平和を築く道具は、食糧、教育、健康管理、環境保全、あらゆる人を尊重すること、その他、私たちが人道的奉仕と呼ぶ多くの活動です」。

—R.I. 会長、クリフォード L. ダクターマン
南アフリカ、ヨハネスブルグで
開催された
国際友好と開発の会議にて

ロータリアンに感謝

ロータリアンは、思いやりあふれる行為をする
専門家であるように見えます。
あなたが求める前に、ロータリアンは、あなたの
問題やニーズを理解します。
何も言わず、ロータリアンは、援助し、励まし、
勇気づけるために全力を尽くします。
さらに、ロータリアンは自発的に行動するので、
何もかも輝きを増します。
ロータリアンは心から他の人を思いやっていますので、
いつも忙しいにもかかわらず、
共に行動し、耳を傾け、助言をする時間を
見つけます。
人に優しくするのがロータリアンの喜びであるので、
率先して援助の手を差し伸べます。
他の人を幸福にすることが、まず、
ロータリアンの念頭にあります。
ロータリアンの援助で、私たちの世界は
住みやすいものとなります。
ですから、点字協会は、皆さまがしてくれたこと、
すべてに対して、皆さまに敬意を表します。

—ロータリアン、ラッセル W. カービー
点字協会
会長
カリフォルニア州の第5280地区に
プラークを贈呈するに当たって

ポリオ・プラスに表敬

「世界のロータリー・クラブを訪ねる度に、
私たちが率先してポリオと闘おうとしている
大きな力に私はいつも心打たれていました...
ロータリーのポリオ・プラス・プログラムは、
ボランティア活動としては世界最大の人道
プロジェクトと評されてきました。このプロ
グラムの最終的成果を思いめぐらすと、私
たちの努力は、不滅の意味を帯びてきます：ポ
リオ・プラスがなければ障害者になってしま
った子供もいたでしょうに、子供たちみんな
が、極く普通に、飛び跳ね、歩き、遊んでい
ます」。

—R.I. 会長、クリフォード・ダクターマン
ポリオ・プラス表敬
アルゼンチン、イグワス